

和食文化に関する意識調査の結果を公表しました

～お正月・大みそかに行事食を食べる人は8割! 季節を感じて健康を祈ろう～

農林水産省は、国民の食生活等の実態や和食文化に対する意識等を明らかにするため、「国民の食生活における和食文化の実態調査」を実施しました。この度、調査結果をまとめましたので公表します。

1. 調査の概要

農林水産省では、国民の食生活等の実態、和食文化に対する意識等を把握し、今後の和食文化の保護・継承の取組に資するためにアンケート調査を行いました。

調査結果については、過去に実施した類似の調査「国民生活実態調査」（平成27年度実施）との比較分析を行い、和食文化に対する意識や食習慣の変容について、調査報告書にまとめております。

調査方法：インターネットモニターに対する Web 調査

調査対象：全国の20-69歳の男女 2,000名

(全国を9エリアに分け男女年代別の人口構成比に合わせて割付)

調査期間：令和2年2月28日～3月6日

2. 結果のポイント

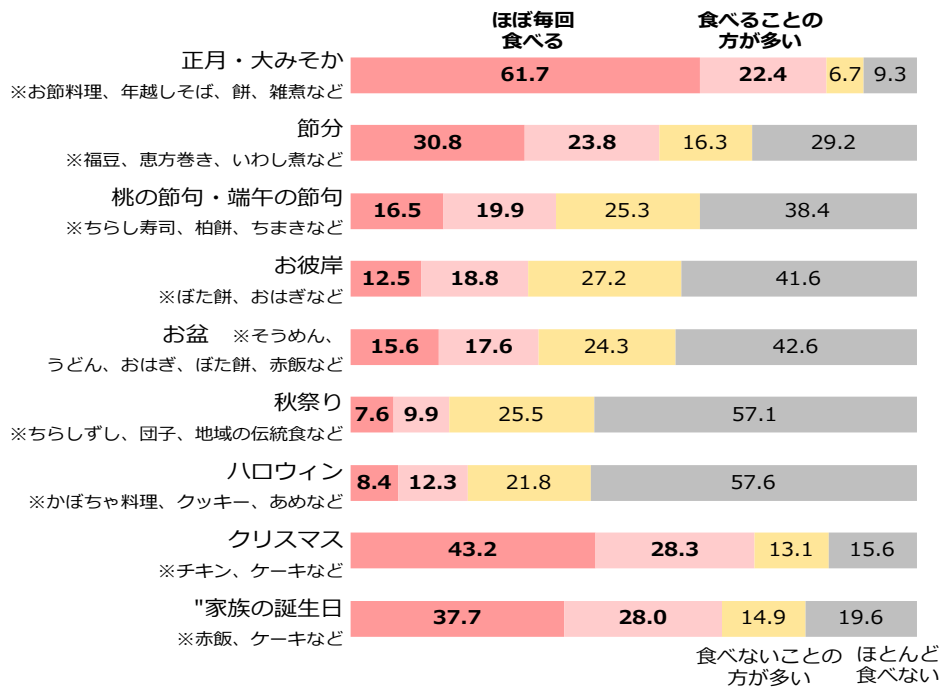
季節の行事など特別な日に関連した食べものを「ほぼ毎回食べる」「食べることの方が多」と答えた人は、『正月・大みそか』（お節料理、年越しそば、餅、雑煮など）が最も多く、8割以上となりました。

季節の行事など特別な日に関連した食べものについて重要なことは、「旬の食材を食べて季節を感じること」（38.1%）、「行事の意味を伝えること」（33.1%）、「健康を祈ること」（29.4%）が上位3つとなりました。

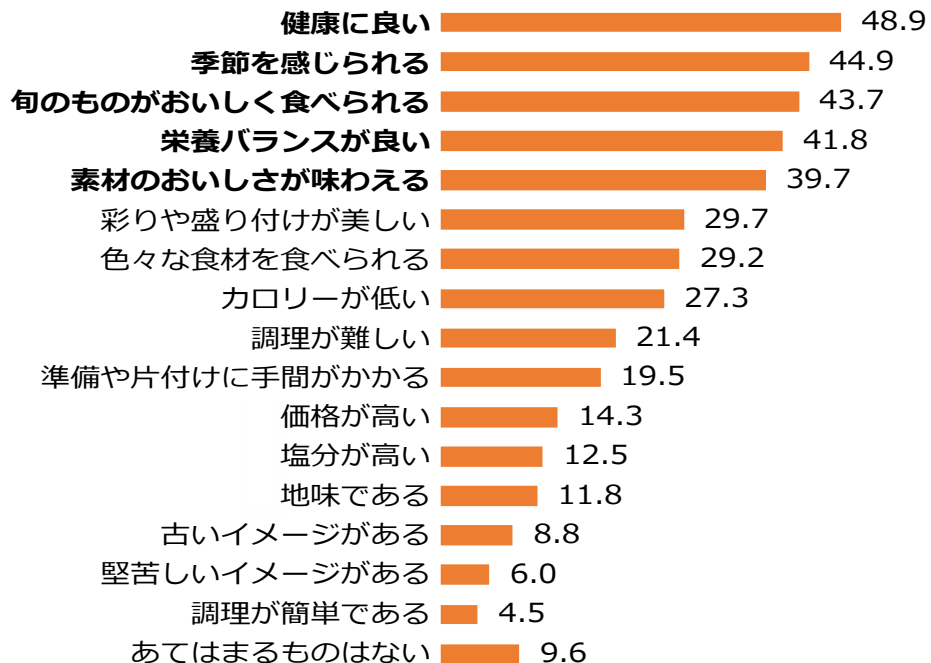
『和食および和食文化』に対するイメージは、「健康に良い」(48.9%)、「季節を感じられる」(44.9%)、「旬のものがおいしく食べられる」(43.7%)が上位3つとなりました。

今年は大変な年となりましたが、お正月・大みそかはお節料理や年越しそばなどを食べて、季節を感じ健康を祈るひとときを過ごされてはいかがでしょうか。

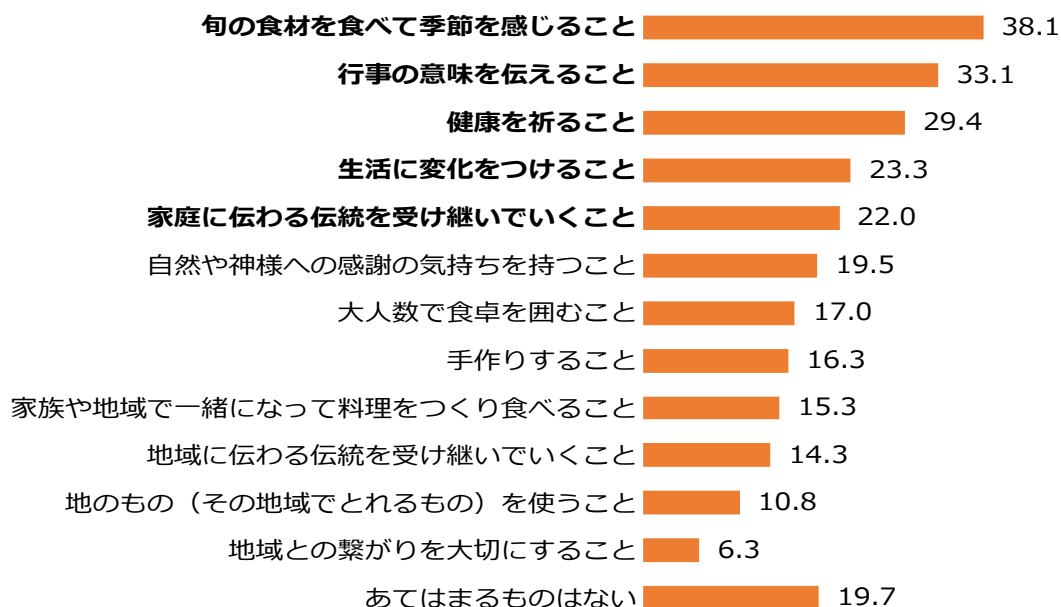
季節の行事など特別な日に関連した食べものの食事頻度



「和食」および「和食文化」に対するイメージ



季節の行事など特別な日に関連した食べものについて重要なこと



3. 公表資料

「国民の食生活における和食文化の実態調査」調査報告書（要約版）

URL: https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/pdf/01_youyaku.pdf

「国民の食生活における和食文化の実態調査」調査報告書（全体版）

URL: https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/pdf/02_zentai.pdf



お問合せ先

食料産業局 海外市場開拓・食文化課 食文化室

担当者：縄田、桂、山口

代表：03-3502-8111（内線：3085）

ダイヤルイン：03-3502-5516

FAX:03-6744-2013